

特別研究室企画展示

明治日本のリーダーたちの海外渡航

～『米欧回覧実記』をはじめとして～



岩倉使節団
『幕末明治文化変遷史』（東洋文化協会 / 1928年）より

江戸時代の終わりの万延元年遣米使節の派遣や明治維新後の岩倉使節団の世界周遊は、異なる文明との出会いであり、その経験は明治日本の国づくりに大きな役割を果たしました。本展示では内田嘉吉文庫をはじめ特別研究室所蔵の資料など幕末・明治期に海外経験をした日本人達に関する本をピックアップし、彼らの功績とともに、現代社会でも参考になる彼らの生き方、考え方などを紹介します。

1854年の開国後、最初の公式使節団であった万延元年遣米使節の経験を伝える『万延元年第一遣米使節日記』（1918年）や『万延元年遣米使節図録』（1920年）、岩倉使節団の世界周遊の記録で、細密な銅版面の挿絵から当時の欧米社会をうかがい知ることができる『特命全権大使 米欧回覧実記』などのほか、渋沢栄一、金子堅太郎、伊藤博文、高峰譲吉、新渡戸稲造ら、海外で見聞を広め、学問を修めた後、明治日本の政財官学界で活躍した人物の著書や伝記など関連本も展示します。

また、企画展示関連講座として「岩倉使節団は明治日本に何をもたらしたのか」（全3回）を開催します。

展示概要

- 会期：2015年10月20日（火）～12月28日（月）
※休館日：11月16日（月）、12月21日（月）
- 開室時間：平日 10:00～20:00、土曜 10:00～18:00、日曜・祝日 10:00～16:00
- 会場：4階 特別研究室
- 入場料：無料

講座概要

古書で紐解く近現代史セミナー

「岩倉使節団は明治日本に何をもたらしたのか（全3回）」

- 11月19日（木）
第1回 「岩倉使節団の使命とその群像」
- 11月25日（水）
第2回 「随行員・留学生たちは何を、どこで、どう見たか」
- 12月2日（水）
第3回 「伊藤博文に見るリーダーの資質」

【各講座共通事項】

- 講師：泉 三郎（NPO 法人 米欧亜回覧の会理事長）
- 時間：19:00～20:30（18:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名
- 参加費：1000円（千代田区民 500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）